学校経営の構想

本校の教育目標

豊かな心と確かな学力を身に付け、夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成

めざす子ども像

合言葉:①「なかま」②「やりぬく」③「まなぶ」

①認め合い、つながり、支え合う子ども

②自らを鍛える子ども

③将来を展望できる学力を持った子ども

めざす学校像

・学び合い、支え合いのある学校

・安全で安心して生活できる学校

・地域とともにある学校

めざす教師像

・全ての子どもの豊かな成長を支援し、課題解決に向けて学び合う教師

・子どもに親しまれ、保護者及び地域から信頼・期待される教師

重　点　目　標

「書く力」を身につけた子どもの育成

「正しく書く」「速く書く」「書き慣れる」この統合力を段階に応じて高めていく。

〇授業力向上

〇学級経営力向上

〇人権・同和教育の推進

経　営　の　重　点　等

【まなぶ】(学力保障)

「書く力」の育成

1．日常的な「視写・音読」「読書」活動
- ・正しく書く、速く書く、書き慣れる → スキルタイム
- ・すらすら読める → ボイスタイム

2．「書く活動」を位置づけた授業
- ・「視写・音読」を中心にすえた授業
- ・「視写」(板書)を生かした授業展開

3．効果のある補充学習
- ・個に応じた補充学習→藤っ子タイム、ガイダンス

【なかま】(学級集団づくり)

「認め、つながり、支える」集団づくり

1．「認め合う」
- ・自己肯定感、自己有用感を高める(肯定的自己認識力)
- ・肯定的他者認識力を育てる

2．「つながり、支え合う」
- ・小集団活動の展開(コミュニケーション能力の育成)
- ・協働的体験活動の充実

(人権に関する知的理解と人権感覚の育成)

【やりぬく】(「まなぶ」・「なかま」の目標達成)

「到達目標づくり」 → 「実践・継続」 → 「評価」 → 「新たな目標づくり」

(成果を見える化すること等で、実践意識を継続する)

※成果指標：達成度調査(4段階評価)において、
- ・子どもの自己評価で3．5以上
- ・教師の自己評価で3．0以上

コミュニティスクール・地域学校協働本部による地域とともにある学校づくり

・学校運営協議会の運営　　・協働本部との連携・協働体制の具体化